

発信するまち 武蔵野 ~ 広報の新基軸構築 ~

武蔵野市の地域のこと、市政情報などをいかに市民に伝えていくか。良い施策・事業が行われていても、情報が伝わっていなければ意味がない。活力ある武蔵野としていくために、内外に情報を発信していくことが必要である。

〔提言〕 興味深い情報を必要な人にタイムリーに伝える。武蔵野市の魅力を日本全国に積極的に発信し、「優良な」市民を誘致する。

私たちは今回、サラリーマン会議の委員として、市から多くの市政情報を得た。他の市に先駆けた多くの先進的な施策や施設の情報に触れ、武蔵野市の魅力を「再」発見することができた。市には、市報、ホームページをはじめ多くの広報手段があるが、なかなかスピーディに生きた情報が伝わってこない。それは、情報の提供の仕方に問題があるためである。また、先進ビジョンや武蔵野の魅力、長所を市内に、日本に、世界に発信することが必要であると考える。

そこで、次のとおり具体的な施策を提案する。

施策提案

CI（シティ・アイデンティティ）の再評価

端的でわかりやすくメッセージ性の高いものをキャッチコピーなどに使ったり、ロゴ刷新を含めて検討する。また、武蔵野市に入るとそれらのCIがそこそこに掲示されているようでありたい。現在も「ようこそ武蔵野市へ」などが作成されているが、武蔵野市の魅力が一目でわかるリーフレットを作成できないか検討する。

市の発行物の統合、シンプル化と配布の工夫

市報のほか、費用対効果を考慮しながらニーズに見合った情報誌を市内各事業所等に配布し、在勤者へのアピールに力を入れる。バラバラに出されている発行物を統合し、シンプルでわかりやすくする。

ホームページ刷新

活力ある武蔵野の情報発信基地としてメッセージ性が高く、目的別に内容が整理された、検索しやすいものとする。また、ホームページにも「コンセルジェ」の役割を持たせて、必要な情報を幅広く得られるように工夫する。英文ホームページを作成し、世界への情報発信も視野に入れる。ビジュアルな説明を多く使い、武蔵野市へのバーチャル視察も可能なように工夫する。

武蔵野白書の出版

武蔵野市の先進的な政策事例を白書にまとめ、広く日本全国に発信していく。

シンポジウムの開催・参加・後援

これからの都市のあり方、理想とされるライフスタイルをテーマにシンポジウムを開催し、市の情報発信に前向きなプレスネットワークによって、可能な限り継続的に市の効果的広報を図る。

「コンセルジェ制度」の導入

武蔵野市のことはもちろん、国、都の事業、制度にも精通していて、市民や来訪者に対して、それらの事業や制度を紹介したり、説明ができる「コンセルジェ」を養成し、市内各駅など利便性の高い場所にコーナーを設置して、「コンセルジェ」を配置していく。